

# 日誌

日誌 02月24日                      慶應義塾大学    学籍番号( 52152011                      )    氏名( 田中 靖子                      )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況		
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	
	10:00	
	11:00	
	12:00	
	13:00	
	14:00	
	15:00	
	16:00	
17:00		
場所		
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

# 日誌

日誌 02月24日 慶應義塾大学 学籍番号( 52152011 ) 氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	

# 日誌

日誌 02月24日

慶應義塾大学

学籍番号( 52152011 )

氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 02月24日                      慶應義塾大学    学籍番号( 52152011                      )    氏名( 田中 靖子                      )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

# 日誌

日誌 02月25日                      慶應義塾大学    学籍番号( 52152011                      )    氏名( 田中 靖子                      )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	到達度評価
	10:00	フィードバック
	11:00	フィードバック
	12:00	地域食堂
	13:00	休憩
	14:00	狭心症調べた
	15:00	服薬指導
16:00	薬歴記録	
17:00	フィードバック	
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(1)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(1)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(1)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(1)名	

# 日誌

日誌 02月25日

慶應義塾大学

学籍番号( 52152011 )

氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

＜実習目標＞

共感の言葉と的確な情報提供

＜実習内容＞

服薬指導 フィードバック 地域食堂

＜実施した内容・調べたこと＞

腰痛の患者さんに服薬指導を行った

OTC医薬品の情報提供

到達度評価とフィードバック

アザシチジン

ロキソニン 腎血流低下

＜考察・感想＞

到達度評価を行ったうえで、今後の目標を決めた。これからは、それぞれの薬の使い分けや注意事項をただ調べるだけでなく、それを患者さんに適応すること前提に、具現化できるよう考えながら勉強しようと思った。

ビスホスホネート製剤だったら、顎骨壊死ではなく、顎の骨/歯と相性が悪いので、ブラッシングを丁寧にするようにしてくださいなど

また、OTC医薬品の情報提供では、質問されることを予想して違いを学び直そうと思った。

また、痛み止めでロキソニンを処方されている方で、容量が増えていたり、長い期間処方が続いている方では、腎機能の確認や、他の薬剤への提案を行うことが大切と分かった。

# 日誌

日誌 02月25日 慶應義塾大学 学籍番号( 52152011 ) 氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	○
5	【④災害時医療と薬剤師】		
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 02月25日 慶應義塾大学 学籍番号( 52152011 ) 氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	NSAIDsを頓服で使用しているそうだったが、何も問題はないことをすぐに答えられなかった。 症状をちゃんと聞けば分かると思う
添付資料	
薬剤師のコメント	今日はフィードバックがメインになりましたね。 どんな観点で学んでいくか少し理解してもらえたのではないのでしょうか。  日誌にも記載してもらったようにフィードバックの中で大切な事は目標を立ててもらうことです。 引き続き頑張っていきましょう。  あ、地域食堂における感じたことも、ぜひ今後の肥やしにしてみてください。  智弘 登録者：小川 智弘
添付資料(薬剤師)	



# 日誌

日誌 02月26日 慶應義塾大学 学籍番号( 52152011 ) 氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	計数調剤
	10:00	受付
	11:00	計数調剤
	12:00	休憩
	13:00	薬の配置
	14:00	服薬指導
		薬歴記載
	15:00	在宅訪問
16:00	フィードバック	
17:00	振り返り	
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(1)名、糖尿病(1)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(1)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(1)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

# 日誌

日誌 02月26日

慶應義塾大学

学籍番号( 52152011 )

氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

## 具体的な実習内容

<実習目標>  
共感の言葉と的確な情報提供

<実習内容>

計数調剤  
薬の配置  
服薬指導  
在宅訪問

<実施した内容・調べたこと>

医ケア児在宅訪問  
白内障手術後のドライアイ  
アムロジピン最高血中濃度到達時間  
HbA1c

<考察・感想>

服薬指導のロールプレイでは、コンテキストだけではなく、その質問をしている患者さんの背景を考えるとということを学んだ。副作用はどうかという質問は、その答えを知りたいだけではないことがある。もしかしたら、その薬に対して不安があるのかもしれない。今はその時点まで到達できていないが、意識しようと思った。

今日は、白内障手術後（一年）で、高血圧のためアムロジピン（夕食後服用）を処方されている患者さんの服薬指導を行なった。体調どうですか？と聞くと「変わりなく、大丈夫です。」と答えてくださった。そのあと、めまいなどありませんかと聞いてみると、たまに夕方にもわっとすると答えてくださった。その時に測った血圧は問題ないことと、夕方にその症状が出ることから、血圧が原因ではなさそうだと判断した。白内障の術後はドライアイや眼精疲労が出るようなので、眼科医への相談を提案した。今日の服薬指導から、具体的に症状を聞いてみることや、多角的に症状を判断することの大切さを実感した。

医ケア児の在宅では、経管投与の薬を届けた。お母さんと話す中で、メプチンが溶けにくいこと、抗生物質の影響で腸内細菌叢が崩れるのが不安だということ、栄養面で野菜ジュースは投与した方が良いのかどうかということが挙げられた。

実際に訪問することで、自分のできることで力になりたいと思った。

# 日誌

日誌 02月26日 慶應義塾大学 学籍番号( 52152011 ) 氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 02月26日

慶應義塾大学

学籍番号( 52152011 )

氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	薬の商品名、一般名を覚える
添付資料	
薬剤師のコメント	今日は本当にバタバタの中一緒に頑張ってくれてありがとうございます。 この日の服薬指導ある意味薬局にとってとても特徴的なものなのかもしれません。 処方されていたお薬はアムロジピンのみだったと思います。アムロジピンだけを説明するだけではない。 小児在宅では、医療に対する満足度にも焦点が当たったように思います。 色々とじっくり考えてみてください。 智弘  登録者：小川 智弘
添付資料(薬剤師)	

# 日誌

日誌 02月27日 慶應義塾大学 学籍番号( 52152011 ) 氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	タリージェ副作用調べる
	10:00	タリージェ副作用調べる
	11:00	第一三共に電話
	12:00	休憩
	13:00	薬調べる
	14:00	服薬指導
	15:00	薬歴記録
		電話
16:00	フィードバック	
17:00	振り返り	
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(1)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(110)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(10)名、その他(0)名	

# 日誌

日誌 02月27日

慶應義塾大学

学籍番号( 52152011 )

氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

## 具体的な実習内容

<実習目標>  
共感の言葉と的確な情報提供  
<実習内容>  
計数調剤  
薬の配置  
服薬指導  
薬の副作用報告 確認

<実施した内容・調べたこと>  
インフルの患者さんの服薬指導  
第一三共に電話  
タリージェ副作用  
タリージェとリリカの違い  
神経障害性疼痛の第一選択薬

### <考察・感想>

今日はインフルの患者さんの服薬指導を行った。  
初来局の女性の方が妊娠可能性があるかどうかは、重要なので、聞き忘れないようにしようと思った。  
また、第一三共に電話してタリージェ錠の副作用として、血糖値やHbA1Cの増加がどのぐらい報告されているのかを確認した。これは、患者さんがタリージェ錠を飲んでから、血糖値やHbA1Cが増加したことと、副作用として書かれていたこと（5%未満）から、この薬のせいではないかと疑惑を持ったためだ。  
第一三共から伺うと、HbA1cが1.5%以上増加した割合は、約10%でプラセボ群と比較しても、頻度が高かった。  
しかし、実際の症例を具体的に知らないないとなんとも言えないと思った。また、リリカやタリージェは神経障害性疼痛の第一選択薬であること、デュロキセチンなども血糖を上昇させることがあること、三環系抗うつ薬はリスクが高いこと、から他の薬にするのも難しそう。

# 日誌

日誌 02月27日

慶應義塾大学

学籍番号( 52152011 )

氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 02月27日

慶應義塾大学

学籍番号( 52152011 )

氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	点眼薬の計数間違えをなくす
添付資料	
薬剤師のコメント	医薬品情報の収集と症状との因果関係を探る。 ちょっと視点を変えてみると、患者さんは完全にこの薬のせいで血糖値が上がったと考えているようです。この要因となったのが患者さんが手元に持っていた患者指導せんだったと考えられます。  確かに患者さんの気持ちになって考えると、急激にヘモグロビンA1 Cが上がったことが自分のせいと言うよりは、薬のせいになってしまう方が分かりやすいし、解決しやすいと考えたのかもしれませんがね。 いろいろな考え方を持った患者さんがいることの学びにもつながるのではないのでしょうか？ 智弘 登録者：小川 智弘
添付資料(薬剤師)	



# 日誌

日誌 02月28日

慶應義塾大学

学籍番号( 52152011 )

氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	疑義紹介
	10:00	疑義紹介
	11:00	薬の味見
	12:00	疑義紹介
	13:00	休憩
	14:00	薬を調べる
15:00	質問に答える	
16:00	服薬指導	
17:00	フィードバック	
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(1)名、高血圧症(0)名、糖尿病(10)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(10)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

# 日誌

日誌 02月28日

慶應義塾大学

学籍番号( 52152011 )

氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

<実習目標>  
共感の言葉と的確な情報提供  
<実習内容>  
計数調剤  
薬の配置  
服薬指導  
疑義紹介

<実施した内容・調べたこと>  
FOLFOX副作用  
口内炎にレバミピド  
ace 誤嚥性肺炎に効果  
cvポート ストマ

<考察・感想>  
今日は、疑義紹介を行った。リセドロン酸の禁忌にCcr30未満と記載があり、前回の患者さんのCcrが33.2だったため。  
疑義紹介の書き方は、往復がないよう簡潔に書くことと、失礼のないよう書くことが大切だと思った。また、他の薬を提案するときは、ステロイドやオピオイドなどは換算表を使って、代替薬を提案することができると知った。  
それ以外のものでは、成分が違えば比較できないため、同種同効薬で用法が同じものを選ぶという方法があると知った。  
また、ゾピクロンを粉砕して味見をした。結構苦みが続いて不快感がすごかった。もう飲みたくなくなったし、自分が体感してみないと、分からないこともあるんだなと思った。  
錠剤を粉砕する場合は、患者さんに渡す前に味を確認することが大切だと思った。  
口内炎が酷いの患者さんには、ご飯が食べれるかどうかの確認と、食べれなかった際の栄養補給のサポートの情報が必要だと思った。

# 日誌

日誌 02月28日

慶應義塾大学

学籍番号( 52152011 )

氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	○
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 02月28日

慶應義塾大学

学籍番号( 52152011 )

氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	<p>今週もお疲れさまでした。</p> <p>実はあの後、メーカーが来て10分ほどディスカッションしました。 ただ、ほとんどデータがなく出せるものがないような話をしていたので、正直あてにならない感じでした。。。 糖尿病性神経障害に対して、今回の被疑薬が使われる場合にはHbA1cが上がることを念頭に置いて使ってもらう事になりそうですね、、、類薬で対応?、、、困りましたね。</p> <p>あとは、患者さんのHbA1cが上がったのが副作用によるものの場合、もう一か所報告をしたほうが良いかな?と思っています。少し考えてみてください。</p> <p>智弘 登録者：小川 智弘</p>
添付資料(薬剤師)	

# 日誌

日誌 03月01日                      慶應義塾大学    学籍番号( 52152011                      )    氏名( 田中 靖子                      )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況		
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	
	10:00	
	11:00	
	12:00	
	13:00	
	14:00	
	15:00	
	16:00	
17:00		
場所		
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

# 日誌

日誌 03月01日 慶應義塾大学 学籍番号( 52152011 ) 氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	

# 日誌

日誌 03月01日 慶應義塾大学 学籍番号( 52152011 ) 氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 03月01日 慶應義塾大学 学籍番号( 52152011 ) 氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	



# 日誌

日誌 03月02日                      慶應義塾大学    学籍番号( 52152011                      )    氏名( 田中 靖子                      )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況		
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	
	10:00	
	11:00	
	12:00	
	13:00	
	14:00	
	15:00	
	16:00	
17:00		
場所		
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

# 日誌

日誌 03月02日 慶應義塾大学 学籍番号( 52152011 ) 氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	

# 日誌

日誌 03月02日 慶應義塾大学 学籍番号( 52152011 ) 氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 03月02日 慶應義塾大学 学籍番号( 52152011 ) 氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	